

新年のごあいさつ



年頭にあたって



あま市長
むらかみ

村上 浩司
こうじ

あけましておめでとございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたこと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は市政運営に對しまして、ひとかたならぬご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、私たちにとって喜びと悲しみが交錯する年となりました。令和6年1月1日に能登半島において大地震が発生し、多くの方々が大変な被害を受けられました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。あま市では能登半島地震の被災地である輪島市へ市職員を派遣し、現在も復興支援活動を継続しております。被災地の皆様の早期復興を心から願い、今後でもできる限りの支援を続けてまいります。

あま市では直接的な被害はございませんでしたが、このような自然災害を教訓に「安全で安心に暮らせるまち」を目標に掲げ、近い将来確実に起きるとされる南海トラフ巨大地震等に備える取り組みを進めております。引き続き市民の皆様が安全・安心に暮らしていただけるよう大規模自然災害等に備えた強靱なまちづくりを推進してまいります。

一方で、嬉しい出来事もございました。昨年はパリ2024オリンピック競技

新年を迎えて



あま市議会議長
ごとう

後藤 哲哉
てつや

あけましておめでとございます。
令和7年年頭に当たり、あま市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、明るく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素は、あま市議会に對して深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

我が国の経済は、回復の兆しが見られるものの、依然として先行きが不透明な状況にあります。あま市の現状をより正確に把握し当市の「特徴」を生かしながら着実にさまざまな施策を提案し、市民の皆さまとともにまちづくりを行ってまいります。

さて、昨年のスポーツに目を向けますと、パリオリンピック・フエンシング男子エペ個人であま市出身の加納虹輝選手が日本人初の金メダルを獲得して、いろいろなところでニュースとして取り上げられたことで、加納虹輝選手とともにあま市も話題になりました。来年愛知県で開催されるアジア競技大会での活躍も期待します。また、昨年1月1日には、石川県能

新春を迎えて



愛知県知事
おおむら

大村 秀章
ひであき

あけましておめでとございます。
新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、「ジブリの大倉庫」青春の丘「どんご森」もののけの里」に続き、「魔女の谷」が誕生し、「ジブリパーク」がフルオープンしました。

そして、10月には、2019年の構想発表から5年をかけて整備してきた、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION A」がグランドオープンを迎えました。

世界中から注目を集める2つの施設の完成により、新たなステージへ、また一歩、大きく歩みを進めることができました。

今後も、これらの施設を起点に、世界中から、たくさんの人、最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知をさらに元気にしてまいります。

さて、今年7月、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がオープンします。スポーツやエンターテインメントの新たな拠点として、「ジブリパーク」や「STATION A」との相乗効果を生み出しながら、世界と大交流

大会において、我があま市出身のフェンシング加納虹輝選手がエペ個人で金メダル、エペ団体で銀メダルを獲得され、私達に大きな感動と誇りをもたらしてくださいました。東京2020オリンピック競技大会に続く2大会連続のメダル獲得、誠にめでとうございました。加納選手の素晴らしい功績は、彼の努力と強い意志の賜物です。今後ともあま市一丸となつて応援してまいります。

また、昨年は七宝焼アートヴィレッジが開館20周年を迎えた節目の年であり、市民の皆様とともにその歴史と伝統を讃えられたことを大変嬉しく思います。この20年間、七宝焼アートヴィレッジは多くの皆様に親しまれ、数多くの七宝焼作品を通じて、地域の文化と芸術の発展に寄与してまいりました。また、観光名所としても多くの方々に訪れていただき、地域の魅力を全国へ、そして世界へと発信する役割を果たしてきました。これもひとえに市民の皆様のご支援とご協力の賜物であること心より感謝申し上げます。現在は七宝焼アートヴィレッジ20周年記念事業として、当施設にて様々な催しが行われています。七宝焼の魅力を存分に感じていただく機会として、ご家族、ご友人と一緒にぜひお越しただければ幸いです。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、健康で幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和7年元旦

登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、災害関連死を含めると400人を超える方が亡くなりました。市民の皆さまには、日ごろから水や食料を備蓄するなど、万が一に備えていただくよう議会からもお願ひします。

今年の干支は乙巳(きのとみ)です。「乙」は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに横へと広がっていくという意味を持っています。あま市が、広く横に発展し、笑顔と幸せあふれるまちとなるように、あま市議会として、対話と議論を大切にして活動してまいります。

結びに、市民の皆さま方の「ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます」とともに、皆さま方の「ご健勝・ご多幸を」祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

令和7年元旦

する愛知を創り上げてまいります。

また、愛知万博20周年となる今年は、3月25日に「愛・地球博20祭」が開幕します。「ジブリパーク」ともコラボレーションしながら大いに盛り上げてまいりますので、ぜひ、楽しみにしていただきたいと思います。

2026年の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後、愛知を元気にし、日本を元気にするプロジェクトが続きます。

グローバル化の進展やAI等のデジタル技術の急速な発展など、世界が大きく変化する中、今後も、これらのビッグプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こつした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和7年元旦